

編集発行責任者 伊藤 洋

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111(代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>E-mail:aotokouhou@jikei.ac.jp

INDEX

01. 別館移転に伴う外来化学療法室の紹介
02. DMAT航空機搭乗訓練に参加して
03. パーキンソン病フォーラムのご案内
04. 平成27年度初期臨床研修医のご紹介、編集後記

別館移転に伴う外来化学療法室の紹介

がんに対する化学療法は、最近、副作用の少ない新しい薬剤が数多く開発され、外来で安全に行なえるようになり、多くの患者さんが日常生活を続けながら通院で治療を受けることができるようになりました。

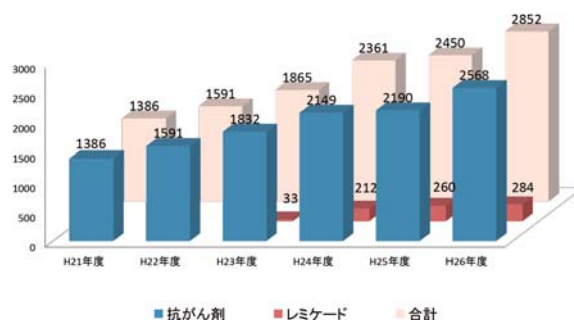
慈恵医大葛飾医療センターでは平成24年1月、新病院の開院を契機に10床の外来化学療法室を開設し、初年度は2361人の患者さんが当施設で治療を受けられました。その後も治療を受けられる患者さんは増え続け、平成26年度は2800人を超える患者さんに利用していただきました。

平成27年7月の別館増築に伴い外来化学療法室は移転し、18床に増床します。それぞれに専用のテレビを設置した電動式のリクライニングチェアとベッドを用意しており、患者さんのご希望でどちらかを選ぶことができます。

がんの化学療法は、時として吐き気や気分不良などの身体症状を伴うことがあります。4名の専任看護スタッフが常駐してお

り、患者さんの体調や気分を理解し、少しでも快適にそして安全に治療が受けられるよう迅速に対応し、また適切なアドバイスができる体制を整えています。

対象の病気は、胃がん、大腸がん、膵臓がんなどの消化器がん、肺がんなどの呼吸器がん、前立腺がんなどの泌尿器がん、乳がん、子宮がん、卵巣がんなどの女性特有のがん、潰瘍性大腸炎、クローン病といった炎症性腸疾患など多岐にわたります。治療は各診療科が責任をもって行なっておりますのでご相談ください。

外来化学療法室利用状況(件数)
(H24年以前は各科外来集計)

DMAT航空機搭乗訓練に参加して



D MATとは、Disaster Medical Assistance Team (災害医療派遣チーム)の略であり、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職および事務職)で構成され、大規模災害や多重傷病者が発生した事故などの現場で超急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った医療チームです。慈恵医大にも昨年4月に附属4病院すべてに設置されました。

今回、我々は慈恵本院DMATとともに、航空自衛隊入間基地で開催された航空機搭乗訓練に参加を致しましたので報告をさせていただきます。

本訓練は、DMATの主要な任務のひとつである広域医療搬送を念頭に置いたものでした。広域医療搬送とは、首都直下型、東海、東南海・南海地震などの想定される大地震で多数の重症患者が発生した際に、平時の救急医療レベルを提供するため、被災地の外に搬送するものです。平成23年の東日本大震災でも19名の外傷患者が自衛隊の航空機で花巻、福島空港から北海道や秋田、東京の病院へ搬送されました。

最初に、基地格納庫で心電図モニターや人工呼吸器などの医療資機材の固定方法の確認を行い、自衛隊担当者からの滑走路内での移動の仕方や航空機への近づき方の指導を受けました。その後、駐機場のC1輸送機まで移動し、参加者のうち

数名を傷病者に見立て担架にのせ、実際に機内に搬入・固定し、特殊環境下での機内活動の確認を行いました。C1輸送機は傷病者8名1チーム5名のDMATを4チーム搬送することができます。

その後、搭乗機は滑走路に移動し、エンジンを全開にしたハイスピード滑走→急減速を行いました。実際の振動や騒音、加重などの機内環境の変化を体験し、訓練を終了しました。

これまでも、当院はこのような訓練に積極的に参加をしてきており、DMATとして最大の課題である南海トラフ地震発生に備えた派遣体制の整備をすすめておりますが、同時に、災害拠点病院として、葛飾区、葛飾区医師会と協力をしながら区民の皆様の生命を守るべく、万が一首都直下型地震が発生した場合の傷病者受け入れ体制のよりいっそうの強化に向けて、病院一丸となって努力してまいります。(救急部)



パーキンソン病フォーラムのご案内



日時 平成27年8月29日(土) 9:30~11:30

会場 テクノプラザかつしか 大ホール

司会 神経内科 診療部長 鈴木 正彦

演者・演題

- ① 森田 昌代先生 神経内科 診療医長
「パーキンソン病とは?」
- ② 余郷 麻希子先生 神経内科 診療医員
「身体を動かそう」
- ③ 高橋 仁先生 リハビリテーション科 理学療法士
「今日からできるリハビリテーション」
- ④ 増田 悦子先生 外来看護師
「社会資源の使い方」



参加費 無料

定員 300名(事前申込制)

申込方法

下記項目を記載のうえ、下記宛先へ郵送もしくはFAXにてお申込みください。申込締切は平成27年8月10日(月)必着とさせていただきます。[8月11日以降に参加証(ハガキ)を随時送付させていただきます。当日は参加証をお持ちください。]

【記載項目】・代表者名 ・申込人数 ・車いすの有無 ・電話番号 ・参加証送付先住所

【宛先】 ※参加人数をご明記の上、お申し込み下さい。

〒110-0014 台東区北上野1-9-12 住友不動産上野ビル2階

グラクソ・スミスクライン(株)内 パーキンソン病フォーラム登録事務局行

FAX:03-5827-0203 お問い合わせ:0120-561-302 (9:00-17:45/土日祝日除く)



平成27年度初期臨床研修医のご紹介

1 倉内 洋輔

素敵な先生方に毎日学ばせていただきながら、楽しく研修させていただいています。
2年間頑張ります。

2 中田 遼志

何ごとにも積極的に取り組み、医師として良いスタートを切りたいと思います。

3 五十嵐 陽介

葛飾の温かい地域の方々に囲まれながら、有意義な研修生活を送れるよう精一杯頑張りたいと思います。



4 春日 英里

1つ1つの出来事に真摯に向き合い、たくさんのことを学んできたと思います。

5 岡島 英梨

アットホームな病院で、日々多くのことを学ばせて頂いています。2年間、出来るだけ多くのことを吸収し、成長できるよう頑張ります。

6 池脇 宏嗣

優しい先生方に恵まれて、充実した研修生活を送っています。葛飾を選んだ直感は正しかったと実感しています。

編集後記

葛飾医療センターのリニューアルから3年が経ち、今年度は別館が竣工、稼働を迎えようとしています。外来化学療法室を増床し、放射線治療を再開致します。引き続き地域の皆さまのニーズに応えられる地域に密着した病院を目指してまいります。